

令和 8 年度 63 回生 授業概要（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅵ 〈リハビリテーション〉	分野/教育内容	専門基礎分野/ 疾患の成り立ちと回復の促進
開講年次・時期	2 年後期 令和 8 年 9 月 14 日	単位数/時間	1 単位/30 単位 本科目は以下の 3 単元で構成される ・外科的治療 : 14 時間 ・放射線医学 : 8 時間 ・ <u>リハビリテーション : 8 時間</u>
担当講師名	所属・役職 岩手県立宮古病院 リハビリテーション技術科		
	副リハビリテーション技師長 理学療法士	芳賀 真由美	
	主任作業療法士	菊池 伸洋	
	理学療法士	金野 昌代	
	言語聴覚士	佐京 雫	
授業の概要	リハビリテーション治療の主な目的と適応、治療が対象に与える影響について学ぶ		
到達目標	1. リハビリテーションに必要な基本的な評価ツールを理解できる 2. 解剖生理や病態の特徴と関連づけて、障害による患者・家族の日常生活への影響を理解できる 3. 対象に応じたリハビリテーションの実際を理解できる		
事前学習内容	シラバスを参照し、授業概要に沿って教科書に事前に目を通して授業に臨むこと		
成績評価の方法	終講試験（100 点） ※各単元それぞれ 6 割に満たない場合は再試験に該当する。上記 3 つの単元の平均点が科目全体の最終成績評価となる。		
使用テキスト	系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院 学生用（電子版）：第 7 版 version4 講師用（紙版）：第 7 版第 4 刷		
授業回数	授業概要(主な学習内容)	担当講師	授業形態
第 1 回	第 1 章 リハビリテーション総論 第 5 章 ステージ別リハビリテーション看護	芳賀 真由美	講義
第 2 回	第 7 章 生活者としての対象を支えるリハビリテーション看護 F 高次脳機能障害	菊池 伸洋	
第 3 回	第 7 章 生活者としての対象を支えるリハビリテーション看護 A 運動機能障害 D 呼吸機能障害	金野 昌代	
第 4 回	第 7 章 生活者としての対象を支えるリハビリテーション看護 B 摂食嚥下障害 E 言語障害	佐京 雫	
	終講試験		
履修上の留意点	・ 不明な点は、その場で積極的に質問し、分からないところは授業の中で理解するように努めること ・ 既習学習内容（解剖学、生理学、疾病と治療）と関連させながら学習を進めること		